

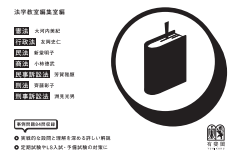
# 問題演習 基本七法 2021

法学教室編集室 編

2021年12月発売／188頁／定価1760円(税込)  
B5判／並製



## 問題演習 基本七法 2021



編集  
担当者  
から

『問題演習 基本七法』は、4年前から年版で刊行している演習書のシリーズです。

法学教室の年度毎の演習欄をまとめたもので、基本七法分野について練られた設問（計84問）と丁寧かつ詳細な解説で重要論点の多くをカバーします。

“事例問題ってどう答えたらいいのだろう…”。“問題集も色々あるけどどれがよいの？”という悩みを学生のみならずからよく聞きます。事例問題の答え方は、講義ではあまり教えてくれませんし、自然には上達しないものです。場数を踏んで、慣れていくことが重要です。

本シリーズは、数ある問題演習書のなかでも抜群のコスパで、最初の演習書として最適です。本書で訓練をして、定期試験や法科大学院入試、司法試験・予備試験に臨みましょう。

さらに、設問部分のみをまとめた『設問集』をウェブ上で無料公開していますので、試験を想定して、まずは設問のみと向き合う使い方もお勧めです。右のQRコードからアクセスしてみてください。(鈴木)



Point!



下の「演習の活用法」だけでなく「論点索引」も各分野掲載し、自学自習を助けます。

【分野と執筆者】 憲法：大河内美紀／行政法：友岡史仁／民法：新堂明子  
商法：小柿徳武／民訴法：芳賀雅顯／刑法：齊藤彰子／刑訴法：洲見光男

### 演習の活用法

**設問**

しっかり読んで、考えよう  
問に答えるために、「憲法問題の中心となる論点を提示しているもの」「設問に答えなければならない点」などを意識して読んでください。  
考えたい点や疑問点を、本文の「重要論点」まで確認できるように演習欄に記入します。

➡ 本文の重要な論点への理解を深めます。  
➡ どのような論点で問題が提起されるか、その論点の重要性を確認します。  
➡ 本文の重要な論点への理解を深めます。

**POINT**

解答への第一歩  
設問に答える論点や解答へのヒントが示されています。設問を読み、設問の答えを導き出すための手がかりが示されています。

➡ 設問を読み、手がかりを導き出すことが、解答への第一歩です。  
➡ 設問を読み、手がかりを導き出すことが、解答への第一歩です。

**解説**

解答例ではありません  
解説例は、設問が提起する論点について、基本的な内容から丁寧に説明がなされています。設問に答えるための手がかりが示されています。設問に答えるための手がかりが示されています。

➡ 設問が提起する論点について、基本的な内容から丁寧に説明がなされています。  
➡ 設問が提起する論点について、基本的な内容から丁寧に説明がなされています。

**重要**

本文の重要な論点への理解を深めます。  
どのような論点で問題が提起されるか、その論点の重要性を確認します。  
本文の重要な論点への理解を深めます。

**設問**

設問に答える論点や解答へのヒントが示されています。設問を読み、設問の答えを導き出すための手がかりが示されています。

➡ 設問を読み、手がかりを導き出すことが、解答への第一歩です。  
➡ 設問を読み、手がかりを導き出すことが、解答への第一歩です。

**POINT**

解答への第一歩  
設問に答える論点や解答へのヒントが示されています。設問を読み、設問の答えを導き出すための手がかりが示されています。

➡ 設問を読み、手がかりを導き出すことが、解答への第一歩です。  
➡ 設問を読み、手がかりを導き出すことが、解答への第一歩です。

**解説**

解答例ではありません  
解説例は、設問が提起する論点について、基本的な内容から丁寧に説明がなされています。設問に答えるための手がかりが示されています。設問に答えるための手がかりが示されています。

➡ 設問が提起する論点について、基本的な内容から丁寧に説明がなされています。  
➡ 設問が提起する論点について、基本的な内容から丁寧に説明がなされています。

**参考文献**

もっと詳しく知りたい  
設問を一度読んだら、参考文献を参考にしてください。

**ステップアップ**

もう一歩学習を進めたい  
設問を読み、手がかりを導き出すことが、解答への第一歩です。設問を読み、手がかりを導き出すことが、解答への第一歩です。

**次の設問**

次の設問範囲は？  
設問を読み、手がかりを導き出すことが、解答への第一歩です。設問を読み、手がかりを導き出すことが、解答への第一歩です。